

# あでやかに古式行列 首里城

第48回琉球王朝祭り首里の古式行列(主催・首里振興会)が3日、那覇市の首里城周辺で行われた。50年の歴史を持つ路次楽隊の音色の響く中、

国の安泰を願う国王参詣行列を再現した。御轎と呼ばれる金色のみこしに乗った国王と王妃を中心に、総勢300人が練り歩き、

色鮮やかな行列が古都の街を彩った。国王と王妃は首里城御庭から王府高官に迎えられ、守礼門まで歩いた後、みこしに乗り込んだ。周辺は観光客や地元住民でこった返した。同日は祝賀パレードや各町旗頭演舞も行われた。台湾・台北市から友人と二緒に沖繩を初めて訪れた江偏君さん(31)は「衣装や化粧が



約300人が練り歩いた首里城古式行列。3日、那覇市の首里城公園

とても興味深い」と沖繩の風物を満喫していた。